

# 第1学年1・2組男子 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 作花 好幸

## 1 単元名 ソフトボール（球技・ベースボール型）

### 2 単元について

- (1) 相対する2チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側は打撃・走塁などで、守備側は投球・捕球などで攻防し、規定の回数内で得点を競い合う集団的スポーツである。ボールをバットで打ったり、打球をうまく捕球して打者や走者をアウトにしたりして勝敗を競うところに楽しさがある。さらに、練習を工夫してバッティングや捕球が上手になり、ヒットを打ったり打者をアウトにしたりできる技術が高まる事でさらに楽しさを味わえる。それらの動きを通じて巧緻性、敏捷性、瞬発力、筋力、コミュニケーション能力などを高めることができる。
- (2) 本学級の生徒28名は活発で、明るい表情で体育活動ができる生徒が多い。ソフトボールについてのアンケート調査によるとソフトボールあるいは野球をした経験がある生徒は10名であるが、「友人に誘われて公園でした」や「小学校の授業でした」など一過性の経験が大半で、投げる事や打つ事、走塁などを教わった経験がある生徒は4名であった。さらに「投げる事」が得意でないと考えている生徒が11名、「ボールを打つ事」が得意でない生徒が14名であった。文章回答の結果を考察すると、「できる・できない」事と「好き・好きではない」事との関連が強い傾向がある。
- (3) 本校の研究のテーマは「さわやかな若者を育成する東部中教育の在り方～自他を大切にし、共に学び合い高めあう生徒の育成～」である。集団的スポーツである本単元では技術の習得や勝敗にとどまらず、友人との関わりを通じて喜びを味わわせたい。具体的にはどのような声かけや友人への関わりをすれば喜びを味わい合える事ができるのかを考えさせて実践させたい。また、今までバットの振り方やボールの捕球や投げ方など基本技能への理解が不足している傾向があるため、ポイントをしばってわかりやすく伝えたい。さらに、バットやボールの取り扱いには具体的に指示をして、危険を回避させたい。

### 3 目標

- (1) 互いに声をかけたり指示をしあったりして、安全に学習をする事ができる。
- (2) 基本的な技術について具体的に理解し、習得に向けて努力をする事ができる。
- (3) 友人のよさを賞賛したり、課題を教え合ったりしながら協力して学習をする事ができる。

### 4 学習指導計画（7時間）

- (1) オリエンテーション、試しのゲーム・・・1時間
- (2) 基本技術の習得、ルールの確認・・・4時間（本時3／4）
- (3) まとめのゲーム・・・・・・・・・・2時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 基本技能（ボールを捕る・投げる、バットを振る、走る）の習得に向けて、技能のポイントを理解し、動きを賞賛、アドバイスをしあうなど、協力をして学習することができる。
- ・ バットやボールの取り扱いなどに留意し、安全に学習することができる。

(2) 学習指導過程（◎豊かな人権感覚を育てるための支援 ●確かな学力、人権に関する知的理解のための支援）

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	指導・支援と留意点
1 柔軟体操、補強運動をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きい声で取り組もう。</li> <li>・ 自由ストレッチを工夫しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己の体力を高めるために、正しい動きで、元気よく実施させる。</li> </ul>
2 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時との違いは何だろう。</li> <li>・ 課題のポイントは何だろう。</li> <li>・ わからない内容を質問できるかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習を振り返り、本時の課題をわかりやすく説明する。</li> <li>・ 本時の学習の流れを確認させる。</li> <li>◎ 生徒が質問しやすい言葉かけで課題を確認する。</li> </ul>
友人の動きを見て、具体的に賞賛・指摘をしあって活動しよう		
3 「動く系補助運動」をする。 ・ 8種の動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な動きを身につけよう。</li> <li>・ 友人の動きはどうか。</li> <li>・ こんな時に使う動きだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動きのポイントや意義を理解させて実施させる。</li> <li>・ 正確な動きで実施させる。</li> </ul>
4 基本技能を習得する学習をする。 ・ ボールを捕る・投げる（キャッチボール） ・ バットを振る ・ ボールをバットで打つ ・ 解説図にチェックする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの動きのポイントを理解しよう。</li> <li>・ 自分の分担は特によく見よう。</li> <li>・ 早くできるようになりたいな。</li> <li>・ わかりやすく伝えたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの動きの部分を分担し、観察・指摘をさせる。</li> <li>◎ 友人へのアドバイスは相手はどうとらえるのかを想像させ、わかりやすさ、言葉の発し方を工夫させ、コミュニケーション能力を高めていく。</li> <li>● できている事や取り組みのよさは積極的に賞賛させ合い、意欲を高める。</li> <li>・ つまずきや戸惑いがあれば、教師はその内容を探り、わかりやすく支援する。</li> </ul>
5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手にできるようになったかな。</li> <li>・ 友だちの存在っていいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 技能面にとどまらず、双方のアドバイスの仕方や取り組みを積極的に賞賛することで、次時への意欲づけをする。</li> </ul>

(3) 評価

- ・ 友人と賞賛、激励、アドバイスをしながら意欲的に学習を進める事ができたか。
- ・ 基本技能について理解を深め、習得に向けて安全に留意して取り組む事ができたか。